



七月一〇日、全国森林レクリエーション協会四国支部の現地研修会が行われ、民国連携等の観点から、フィールドとして、安芸森林管理署管内和田山国有林等を提供しました。当該地は、森林技術センターが実施しているヤナセスギの天然更新試験地であり、美しい森林づくりのモデル的取組の対象地となっております。

協会からは、上治支部長（馬路村長）ほか一二名、国有林からは、講師として計画部長、森林技術センター所長、安芸森林管理署長が出席しました。天然更新試験地では、発生し

たヤナセスギの稚樹を確認しながら、試験の目的、これまでの結果等の概要を説明しました。その後、千本山林木遺産資源保存林に移動し、当該試験の目指す森林である同保存林の代表林分を見学しました。

林立するヤナセスギの巨木群を目の当たりにする一方、その下層には後継樹となる稚幼樹がないことを確認し、天然力による後継樹の育成技術の重要性について、理解を深めました。

各地の

たより



別府溪谷の「出会いの森」で

下刈作業を体験

（高知中部署）

六月八日、別府溪谷沿いの別府山国有林五二林班内ふれあいの森「運輸労連出会いの森」において、四国四県から一七名のボランティアの方が参加し、下刈作業を行いました。

この「出会いの森」は、職業ドライバーの皆さんが組織する運輸労連と当署が平成一七



年協定を結び、三年間にわたり、モミジ・サクラ・カエデ等の植樹を行ってきているところでは、

今回の下刈作業は、二〜三年前に植えた区域約〇・四haを中心に、バラのトゲに悩まされながらも、雑草に覆われた植栽木を傷めないように、丁寧に刈払いを行いました。

暑い中での作業でしたが、今回の作業で植栽木に十分な陽が当たるようになり、今後一層の成長が期待されるそうです。

「私はプロイチ」「僕はクワガタ」等のフリープランデーで木工教室

（ふれあいセンター）

六月二二日、宇和島市立三間小学校では、外部講師を招いて、工作、絵本づくり、音



楽・合奏など九種類の体験教室「フリープランデー」を開き、子供たちが好きな教室を選んで親子で参加しました。当センターが担当した木工教室には、一年生から六年生までの子供二〇人とその保護者を合わせた約四〇人が参加しました。



最初に、当センターの業務を説明後、プロジェクトを使って「くらしに役立つ木」と題して、身の回りで使われている木の特徴や長所、短所を子どもたちにも解りやすく説明しました。その後、木工づくりに挑戦。カブトムシ、クワガタムシ、クマのプローチ、キーホルダーとそれぞれが工夫を凝らした木工クラフトを、のこぎり、ナイフ、糸のこ等を使って作成しました。保護者も汗だくになりながら熱中し、五種類もの作品が完成した親子もいるなど、一段と親子のコミュニケーションがはかれ、有意義な一日となりました。

ふれあいの森活動を

治山工事施工現場で実施

（徳島署）

六月二五日、徳島県那賀町の釜ヶ谷国有林・治山災害復旧現場において高知林業土木協会会員二五名が林地の早期森林化を目的としたブナ・ケヤキ・トチノキ六四本の植樹と植樹木をシカの食害から守る防護ネットを取り付ける「ふれあいの森づくり」を実施



しました。
 現地は平成一六年の台風一〇号で約二、五haの国有林が崩壊、土石流となって甚大な被害をもたらした箇所で、四年の歳月と五億三千万円の経費をかけ山腹・谷止工などを施工。昨年度末に完成したことを記念して、同協会からボランティアでの植樹の申し出があり今回のイベントとなりました。

当日は雨が心配される天候でしたが、降雨も無く無事に終了。参加者からは「これから苗木もシカに食べられる心配も無く、無事に育ってくれるだろう」と笑顔こぼれる一日となりました。



いくつ覚えたかな？
 一校庭の樹木に名板を取付
 〈ふれあいセンター〉

六月二六日、松野町立松野西小学校四年生の今年度二回目の森林環境学習が実施され、一回目に学習した校庭の樹木の名板を製作して取り付けました。

始めに、年輪の話をして木への関心を持たせました。その後、用意された輪切りの板を手にした児童は、早速、思い思いのイラストや樹木名を下書きし、ポスターカラーなどで色付けしていきましました。そして、完成した名板を持って校庭へ出て、前回の復習をしながら約三〇本の木に取り付けていきました。

終了後の感想では、「僕たちが卒業するまで付いていてほしいです」「木にも年齢があることが分かりました」などの発表がありました。毎日目にする校庭の樹木に、自分たちが作った名板を取り付けることよって、樹木名を覚えたり樹木や森林に関心を持つきっかけとなつてほしいものです。

六月二七日、屋島東小学校の三・四年生六三名を対象に、同校近くの屋島国有林の「遊々の森」で森林教室を行い、森林の働きについて学習しました。

当日は、梅雨の最中にもかかわらず好天に恵まれ、学校から徒歩で向かう児童は汗をかきながら登りましたが、森林内に入ると涼しい風が吹くことに、「どうして」と早くも興味津々です。

まず、森林ふれあい担当主幹から森林が水源の確保や国土の保全に役立っていること、木が紙や家具などの材料として使われていることなど、身近な暮らしの中で大切な役割を果たしていることを教わった後、四年生はペットボトルで森林の土と学校の土を使った雨水の浸透の違いを実験、下草刈りの体験をし、

遊々の森で遊んで学んで
 〈香川所〉

三年生は「遊々の森」にある木の名前を図鑑と見比べながら探し、名板をかけました。

最後は、木にかけられたターザンロープやブランコで遊びましたが、名板かけに時間をとられ、遊ぶ時間が短かくなつたため、名残惜しそうちに「遊々の森」を後にしました。

身近な森で遊んだりすることを通して、森林や環境について関心を持つてくれることを期待します。



高知県立香北青少年の家で森林教室開催
 〈高知中部署〉

七月一日、香北青少年の家において、大柵小学校四・五年生二一名を対象に、森林教室と木工クラブト教室を行いました。

森林教室では、森林が地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素の吸収をはじめ、水を蓄え、土砂の流出や山崩れの防止、木材を生産するなど、私たちの生活に大きく貢献していることや、多くの動物が森林と深い係わりを持ち生きていることなどについて勉強しました。五年生は昨年も森林について学習しており、講師が問いかける色々な質問に対して、今までの深まった理解をもとに活発に手を挙げ答えていました。



室と木工クラブト教室を行いました。

森林教室では、森林が地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素の吸収をはじめ、水を蓄え、土砂の流出や山崩れの防止、木材を生産するなど、私たちの生活に大きく貢献していることや、多くの動物が森林と深い係わりを持ち生きていることなどについて勉強しました。五年生は昨年も森林について学習しており、講師が問いかける色々な質問に対して、今までの深まった理解をもとに活発に手を挙げ答えていました。

校庭の樹木の炭素現存量は？ 森林と地球温暖化防止を学習

〈ふれあいセンター〉

七月二日、四万十市立後川中学校一年生九名を対象に、「森林と地球温暖化」をテーマにした森林環境教育を実施しました。

導入では、「地球温暖化とは」「森林（樹木）は、温暖化防止にどのような役割を果たしているか」などについてプレゼンテーションにより分かりやすく説明しました。

次に、実際に樹木がどれだけのCO₂を蓄えているか計算するため、校庭に出てクロマツとクスノキの直径と樹高を測定しました。教室に戻った



「木の直径は何cm?」

生徒たちは、職員の説明を受けながら計算式に当てはめてCO₂の重さを算出し、改めて実感が湧いたようでした。

最後に、学級委員から「木がCO₂を蓄えていることが理解できました」と感想が述べられるなど、地球温暖化がテーマの「洞爺湖サミット」間近のタイムリーな森林環境教育となりました。

できた！

世界に一つだけの作品

〈ふれあいセンター〉

七月一日、松野町立松野西小学校四年生の今年度第三



完成したカブトムシ等を見せ合う子供達

回目の森林環境学習を支援しました。今回は、学校から木工クラブの希望があったことから、カブトムシとクワガタムシを作ることにしました。

作業を始める前に、この日使用するソメイヨシノとウツギの名前の由来や特徴と、道具の安全な使い方を説明しました。

材料を選んだ子どもたちは、職員の指導を受けながら、早速ノコギリやクラフトナイフを手に作品作りに挑戦しました。手際よくパーツを作る子どもがいる一方、「うまく切れませーん」と悪戦苦闘する子どもも。

約二時間半かけて、全員がカブトムシやクワガタムシを完成

させ、大満足の表情でした。ふりかえりの時間には、「始めは難しかったけど、世界にひとつだけのカブトができてうれしい」「家でも作ってみたい」などの発表があり、思い出に残る木工体験となったようです。

森林管理局の業務紹介 職員厚生課の業務について

職員厚生課は、現在、一五名（共済組合職員含む）の職員で、職員の給与・福利厚生・安全衛生・共済組合に関する業務等を行っており、企画係・給与係・安全衛生係・共済組合係の四係から構成されています。

企画係では、定員外職員の雇用・退職に関する事、厚生年金・健康保険・雇用保険に関する事、公務員宿舎に関する事と等の事務を行っております。

給与係では、職員の給与・賃金・手当・財形貯蓄等に関する事務全般を行っております。

共済組合係では、林野庁共済組合員証の交付、その他組合員及び被扶養者に関する事、職員や退職者の共済年金等に関する

る事務を行っております。

また、共済組合係では共済年金に関する相談窓口を設置し、ご質問等お問い合わせにお答えしております。

安全衛生係では、職員の安全衛生及び健康に関する事や補償等に関する業務を行っております。

労働安全に関しては、「平成二〇年度労働安全衛生対策」に基づいて、職員の皆さんがそれぞれの持ち場において努力頂く中で、これまで無災害を継続しております。

今後とも、健康で災害のない明るい職場づくりに向けて、課員が一人となって取組んでいくこととしております。

今月の主なイベント等の予定

△二二日

国有林モニター勉強会

(局企画調整室)

△二五日

森林ふれあい館で夏休み親子木工教室 (局指導普及課)

△二六日・二七日

四国の森林づくり子どもサミット

(局指導普及課・ふれあいセンター)

(局指導普及課・ふれあいセンター)